

漁海況速報

No.11

平成19年3月23日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の差込は先週より接岸し本県北部海域沖30海里付近にみられ、7~8℃台が分布している。
- ②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県中南部海域の10海里より沖合には広く12~16℃台が分布している。
- ③定地水温は、小名浜は平年より2℃高く、大熊・松川浦は平年並。

見通し(1週間)

- ・本県南部では黒潮系暖水の波及が継続しますが、北部海域では親潮系冷水の波及により水温の低下がみられるでしょう。

貝毒情報(ムラサキイガイ)

平成18年3月12日に小名浜港で採捕したムラサキイガイ(通称シュウリガイ)を福島県衛生研究所で検査した結果、規制値(麻痺性貝毒4MU/g、単位については下記参照)の4倍を超える麻痺性貝毒15.5MU/gが



ムラサキイガイ

検出されました。このため、福島県では平成18年3月15日から福島県下一円で、市場、販売店等における販売、および、旅館、飲食店等における使用を禁止するとともに、関係漁協および一般住民へ、採捕の自主規制を要請しています。

また、ムラサキイガイを捕食するトゲクリガニ、イシガニも毒化していることが推定され、採捕及び出荷等の自粛が要請されています。

※麻痺性貝毒1MU(マウスユニット)/gとは、体重20gのマウスを15分間で致死させる毒量をいう。

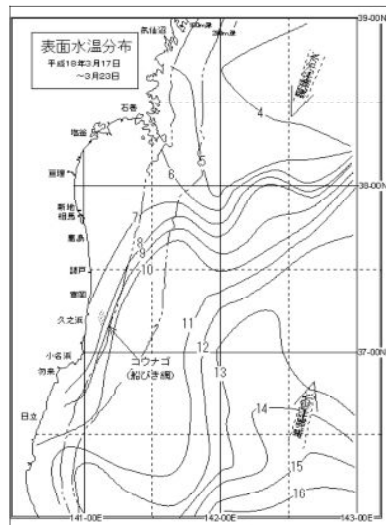
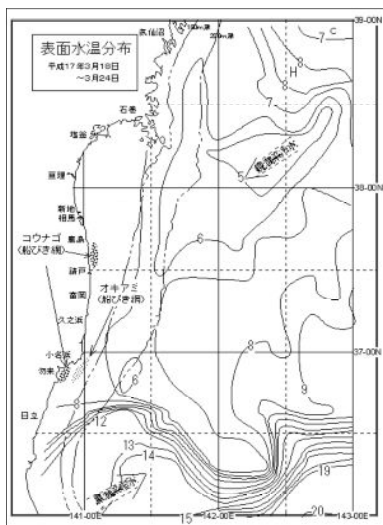
平成17年同期

平成18年同期

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
3/16	10.9	9.3	7.2	13.6
3/19	10.3	8.7	6.8	13.4
3/20	10.3	9.0	6.8	13.2
3/21	—	—	—	13.4
3/22	10.2	9.2	8.0	13.3

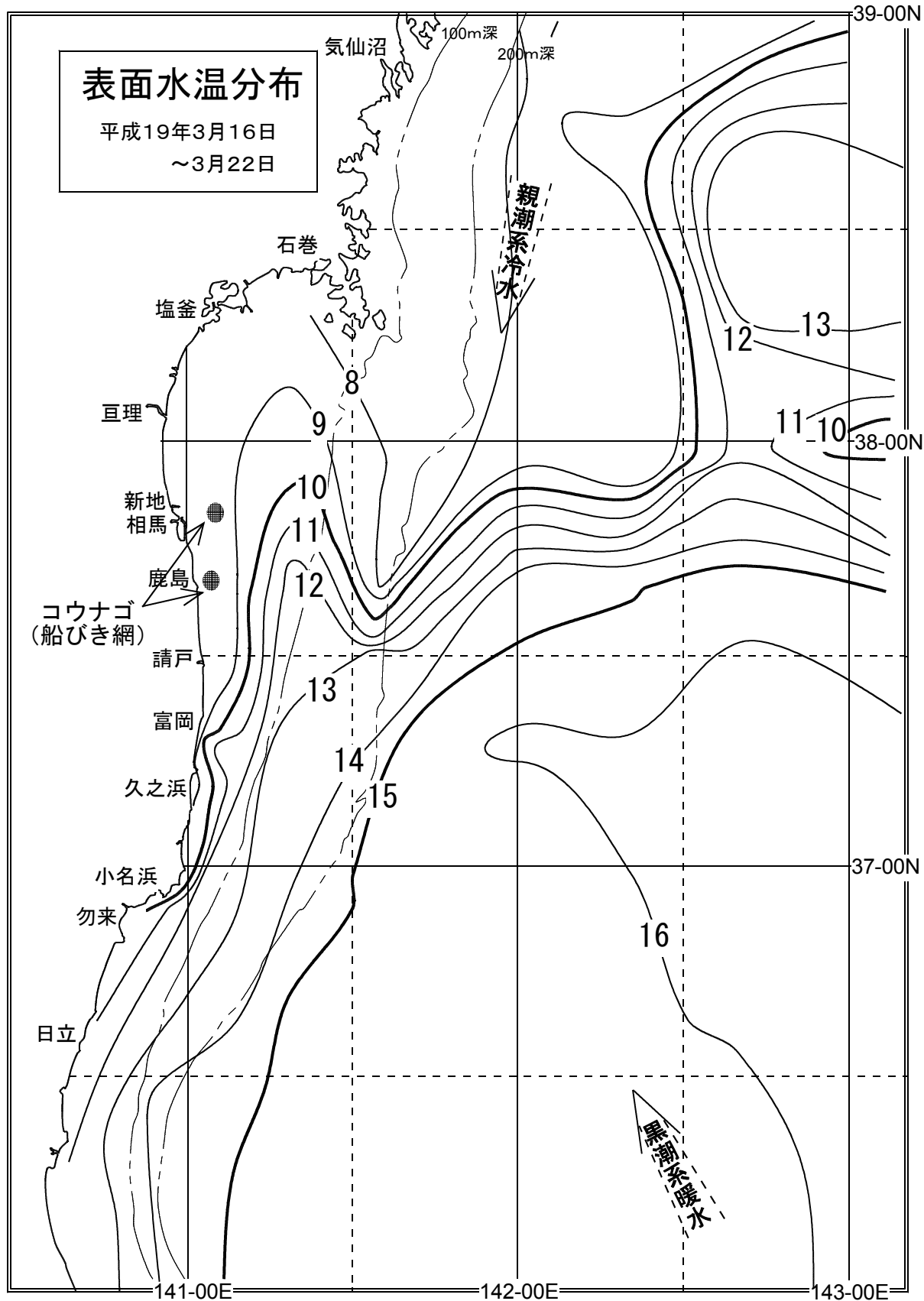
広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)



表面水温分布

平成19年3月16日

～3月22日



漁海況速報

No.12

平成19年3月30日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の差込は先週並で、本県北部海域沖30海里付近に7~8℃台が分布している。
- ②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県中南部海域は極沿岸から広く12~14℃台が分布している。
- ③定地水温は、小名浜は平年より3℃、大熊は2℃、松川浦は1℃高い。

見通し(1週間)

- ・本県南部では黒潮系暖水の波及が継続しますが、北部海域では親潮系冷水の波及により水温の低下がみられるでしょう。

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
3/23	10.3	9.1	8.3	13.0
3/26	11.3	11.7	9.1	12.7
3/27	11.5	10.9	8.6	12.9
3/28	11.8	10.5	8.8	13.0
3/29	12.0	10.8	9.0	12.8

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成18年度第3回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報

・平成19年3月22日に中央水産研究所ととりまとめにより水産庁から発表されました標記漁況予報についてお知らせします。

(対象:房総~道東(まき網、定置網))

カタクチイワシ

- (1)来遊量:まき網は前年を下回る。三陸の定置網は前年並み。道東の定置網は前年を下回る。
- (2)漁期・漁場:まき網の主漁場は4月に常磐南部~外房海域で、5月以降常磐北部にも広がる。仙台湾から三陸南部の定置網は5月から。
- (3)魚体:9~11 cm台(1歳魚)主体。仙台湾から三陸南部の定置網は12~13 cm台(2歳魚)主体。

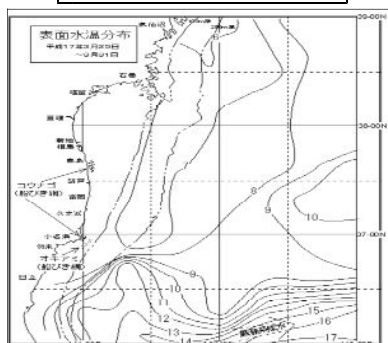
マイワシ

- (1)来遊量:1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚は少ない。全体としては前年を下回る。
- (2)漁期・漁場:4~5月は鹿島灘~犬吠埼沖で、6月以降常磐海域に広がる。常磐北部での漁場形成は6月以降。三陸南部~仙台湾の定置網は5月、三陸北部の定置網は6月から。道東での漁場形成は無い。
- (3)魚体:4~5月は19~21cm(2歳魚)と14~15cm(1歳魚)、6月以降15~17cm(1歳魚)となる

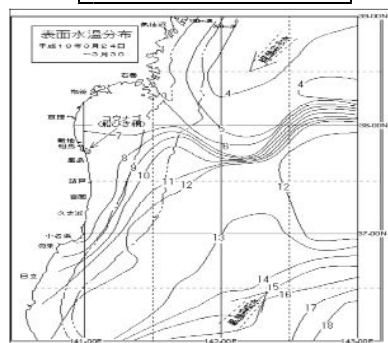
サバ類

- (1)来遊量:マサバ3歳魚は前年を上回る。マサバ1歳魚は前年を下回る。マサバ2歳魚は前年を大きく下回る。マサバとしては前年を下回る。ゴマサバは前年を下回る。サバ類全体として前年を下回る。
- (2)漁期・漁場:まき網漁場は犬吠~常磐南部海域が主体となる。
- (3)魚体:マサバは31~35 cm(3歳魚)主体に28~30 cm(2歳魚)が混じる。ゴマサバは28~34 cm(2、3歳魚)が混獲程度。

平成17年同期

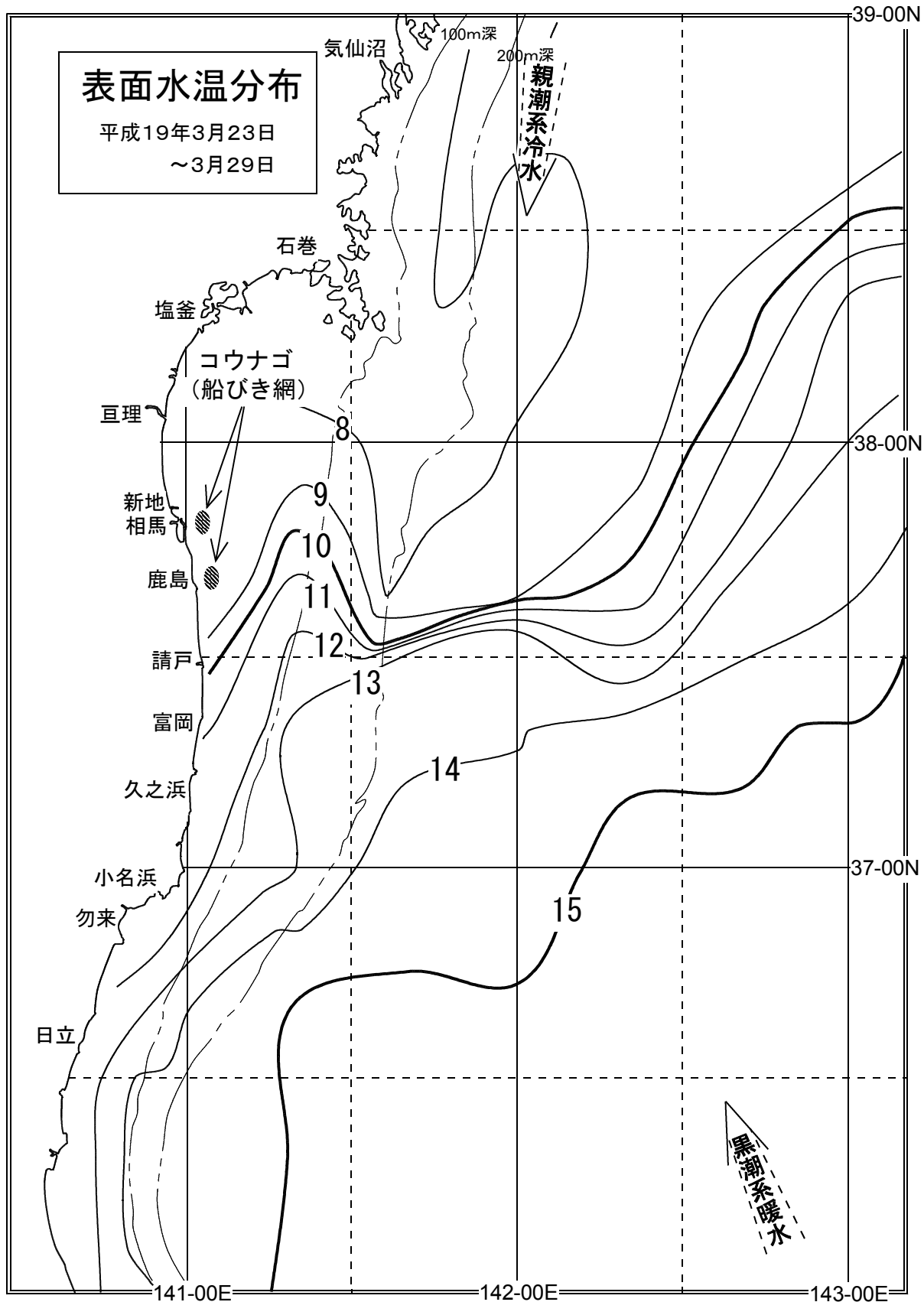


平成18年同期



表面水温分布

平成19年3月23日
~3月29日



漁海況速報

No.13

平成19年4月6日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の差込は先週並だがやや昇温し、本県北部海域沖30~40海里付近には8~9℃台が分布した。

②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県中南部海域は極沿岸から広く12~14℃台が分布している。

③定地水温は、小名浜は平年より2℃、大熊・松川浦は1℃高い。

見通し(1週間)

・現状並の海況で推移するでしょう。

漁況情報(コウナゴ)

・3月のコウナゴの水揚げ状況は以下のとおりでした。

	いわき	相双	全県
平成19年	数量(kg)	33,512	248,339
	金額(千円)	32,655	250,202
	単価(円/kg)	974	1,008
平成18年	数量(kg)	63,147	188,689
	金額(千円)	31,284	87,983
	単価(円/kg)	495	466
昨年比	数量(kg)	53.1%	131.6%
	金額(千円)	104.4%	284.4%
	単価(円/kg)	196.7%	216.1%

・いわき海域では漁期当初から不漁が続いておりますが、相双海域では昨年よりやや好漁で推移しております。
・他海域で不漁のため、単価が千円台と近年まれにみる高値がついており、水揚げ金額としてはいわき海域では昨年並み、相双海域では昨年の3倍近くの好況となっております。

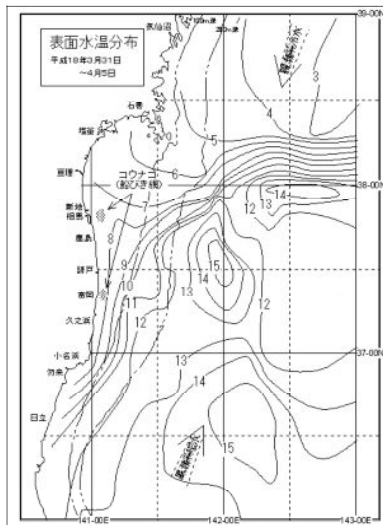
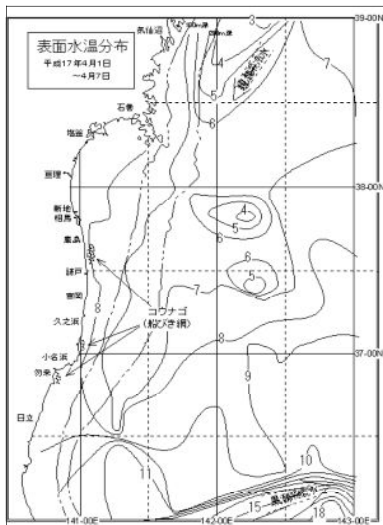
平成17年同期

平成18年同期

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
3/30	12.0	10.6	9.0	12.6
4/2	12.2	10.5	10.5	12.2
4/3	12.2	10.6	10.1	13.5
4/4	11.8	10.2	9.8	14.1
4/5	11.9	10.2	9.5	14.1

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)



表面水温分布

平成19年3月30日

～4月5日

気仙沼

100m深

200m深

親潮系冷水

8

39-00N

12

11

9

38-00N

石巻

塩釜

亘理

コウナゴ
(船びき網)

9

新地
相馬

鹿島

10

11

請戸

12

富岡

13

久之浜

14

小名浜

37-00N

勿来

15

サバ類
(まき網)

寒暖水

日立

141-00E

142-00E

143-00E

漁海況速報

No.14

平成19年4月13日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の勢力はやや弱まり、本県北部海域沖では9℃台が分布している。

②黒潮系暖水は沖合からの波及傾向がみられ、本県中部海域沖50海里より沖合には16℃以上がみられる。

③定地水温は、小名浜は平年より2℃高く、大熊・松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並の海況で推移するでしょう。

平成19年4月海洋観測結果

・4月9~11日に本県調査船「いわき丸」で行った海洋観測結果をお知らせします。
・観測し水温の定線ごとの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	14.90	+3.54	+3.87
	富岡	13.31	+2.29	+3.53
	鵜ノ尾	9.71	+0.73	+1.20
	全体	12.64	+2.19	+2.86
100m深	塩屋	12.94	+2.24	+4.30
	富岡	11.35	+0.46	+3.48
	鵜ノ尾	8.17	-1.33	+1.74
	全体	11.21	+0.75	+3.39

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・黒潮系暖水の強い波及が継続しており、本県中南部海域は高水温に覆われ、特に塩屋埼沖では平年より極めて高めの水温がみられました。親潮系冷水の勢力は弱く、目立った低水温はみられませんでした。

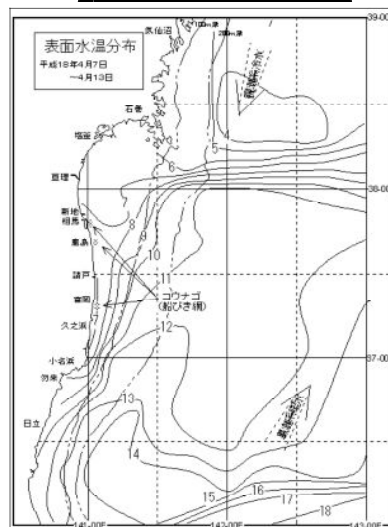
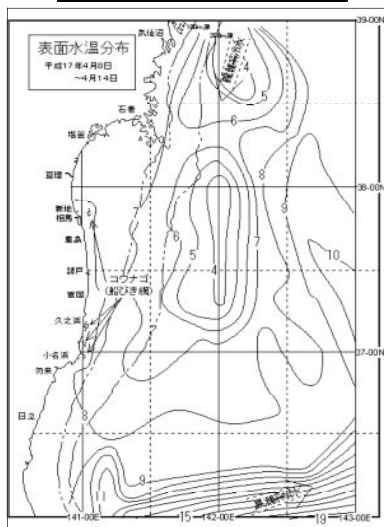
平成17年同期

平成18年同期

定地・定点水温の推移(℃)

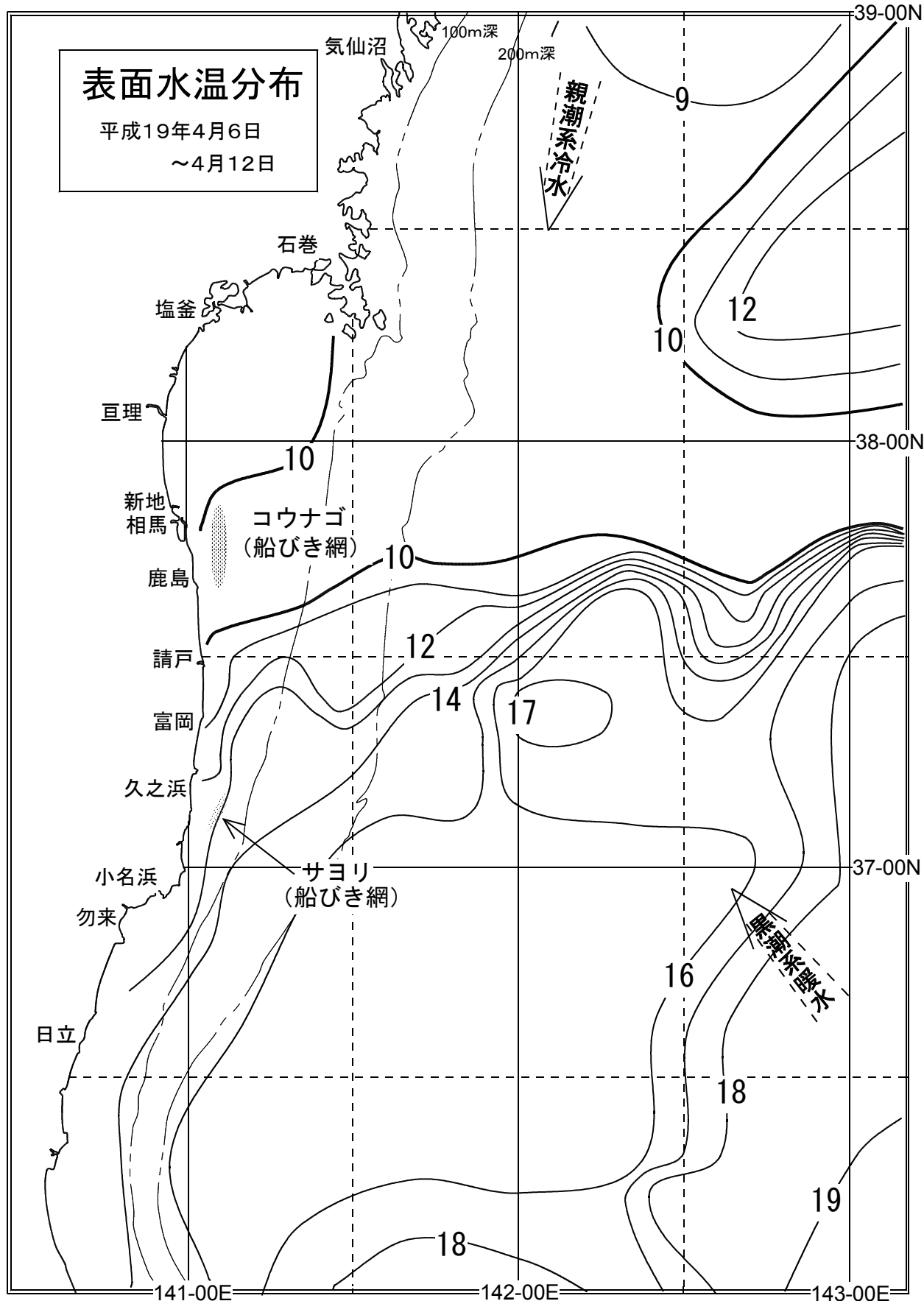
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
4/6	11.9	10.0	9.4	14.1
4/9	13.2	10.7	10.7	14.1
4/10	12.8	10.6	10.4	14.2
4/11	12.9	11.0	10.3	13.8
4/12	12.9	10.4	10.6	13.7

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)



表面水温分布

平成19年4月6日
～4月12日



漁海況速報

No.15

平成19年4月20日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①親潮系冷水は目立った波及はみられないが、本県中北部海域のごく沿岸では9℃台が広く分布している。

②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県中南部海域の距岸10海里付近より沖合は広く12~16℃台が分布している。

③定地水温は、小名浜・大熊は平年より1℃高く、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並の海況で推移するでしょう。

漁況情報(コウナゴ)

・初漁から4月18日までのコウナゴの水揚げ状況は以下のとおりでした。

	いわき	相双	全県
平成19年			
数量(kg)	47,313	628,587	675,900
金額(千円)	38,448	440,232	478,680
単価(円/kg)	813	700	708
平成18年			
数量(kg)	127,239	561,764	689,003
金額(千円)	48,490	194,828	243,318
単価(円/kg)	381	347	353
昨年比			
数量(kg)	37.2%	111.9%	98.1%
金額(千円)	79.3%	226.0%	196.7%
単価(円/kg)	213.2%	201.9%	200.5%

・4月に入りジャンボコウナゴが多く獲れ始め、全体の平均価格としては下降気味となっております。しかし、良物には依然として近年まれにみる高値がついており、集計期間の累計でも水揚げ金額は昨年の2倍近くの好況となっております。しかし、17日に座礁した貨物船から油が漁場付近に漏れ出し、一時操業を見合わせるなどしており、今後この影響が心配されます。

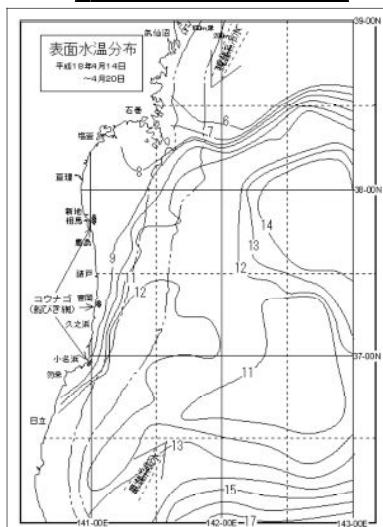
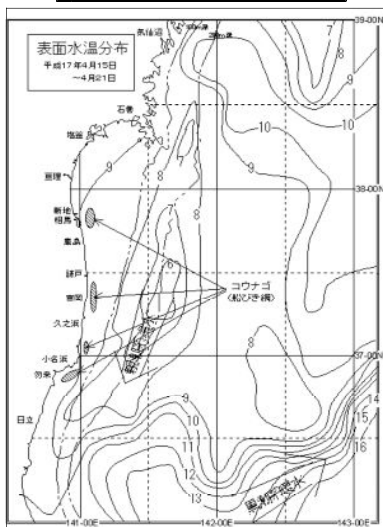
平成17年同期

平成18年同期

定地・定点水温の推移(℃)

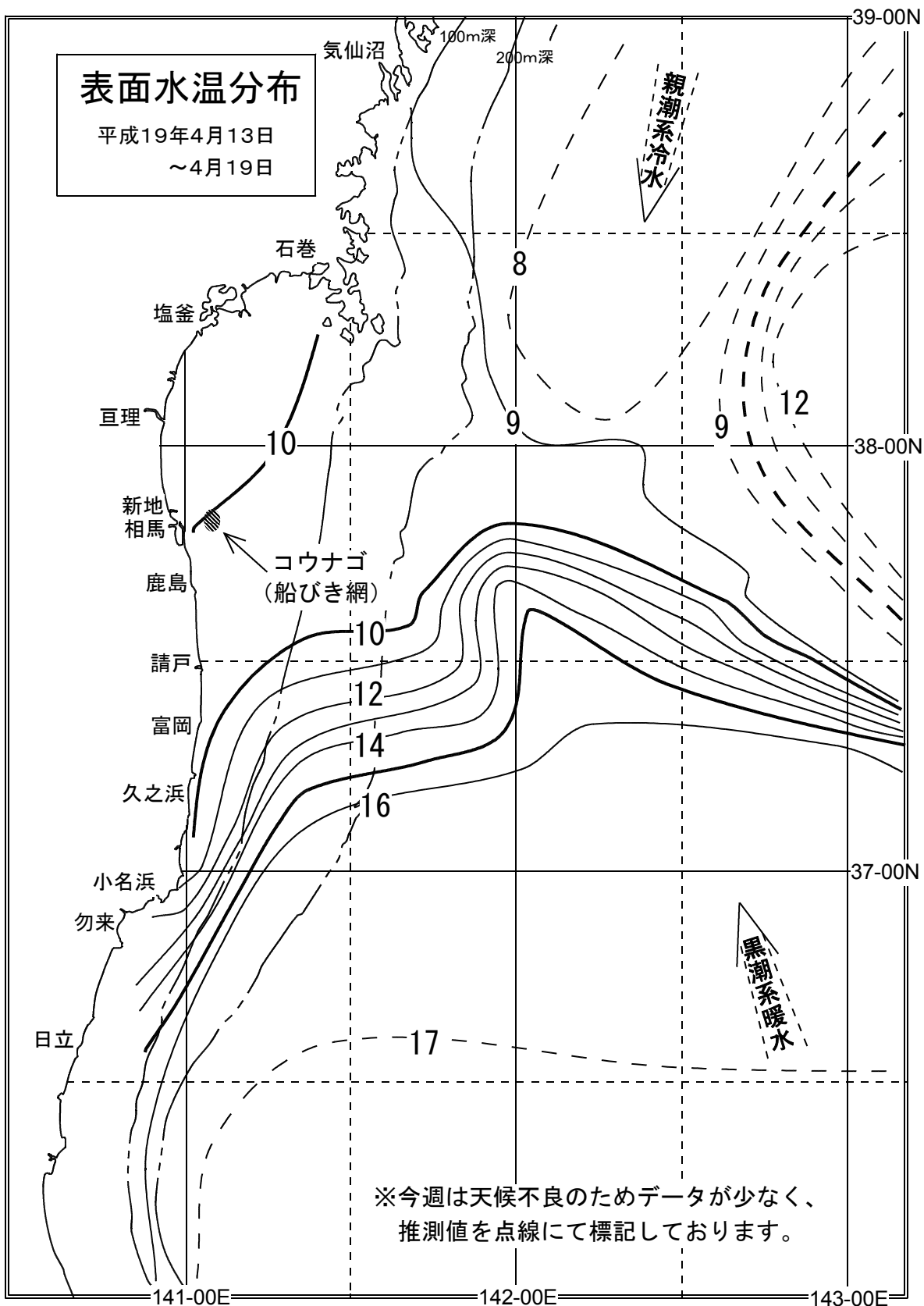
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
4/13	13.5	11.5	10.7	11.7
4/16	13.5	11.7	10.5	9.5
4/17	12.9	11.7	9.1	13.0
4/18	11.8	11.0	9.5	13.3
4/19	11.4	11.1	10.3	13.1

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)



表面水温分布

平成19年4月13日
～4月19日



漁海況速報

No.16

平成19年4月27日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ① 本県中北部海域沖には広く親潮由来とみられる8~9℃台の比較的低い水温が分布している。
- ② 黒潮系暖水の沖合からの波及傾向はやや弱まったが、小名浜沖30~50海里付近には沖合から波及した15℃台がみられる。
- ③ 定地水温は、大熊は平年より1℃高く、小名浜・松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・ 黒潮系暖水の波及勢力はやや弱まるでしょう。

平成19年度東北海区海況予報第1号

・ 平成19年4月27日に東北区水産研究所とりまとめにより発表されました標記予報をお知らせします。

<<今後の見通し(2007年4~6月)>>

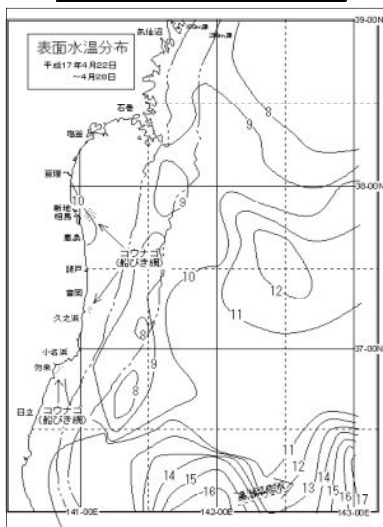
- (1) 近海の黒潮の北限位置は、南偏~やや南偏(35°N~36°N)で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並~やや北偏で推移する。
- (3) 常磐沖の暖水塊は、近海に停滞する。
- (4) 親潮第1分枝の張り出しは、平年並~やや北偏(39°Nまで)で推移し、三陸~常磐沖に冷水域が残る。
- (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並~やや強勢(143°E付近まで)で推移する。

<<福島県周辺海域の今後の見通し(2007年4~6月)>>

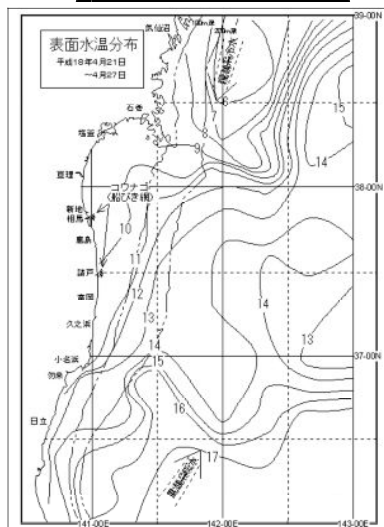
・ 期間前半は現状の沖合からの黒潮系暖水の波及傾向が継続するが、その勢力は後半に向かって現状より衰退してゆき、これに伴い期間後半には親潮系冷水の波及傾向がみられる。沿岸の水温は平年よりやや高めから期間後半に向かい平年並となってゆく。

※次号の速報発行は5月11日となります。

平成17年同期



平成18年同期



定地・定点水温の推移(℃)

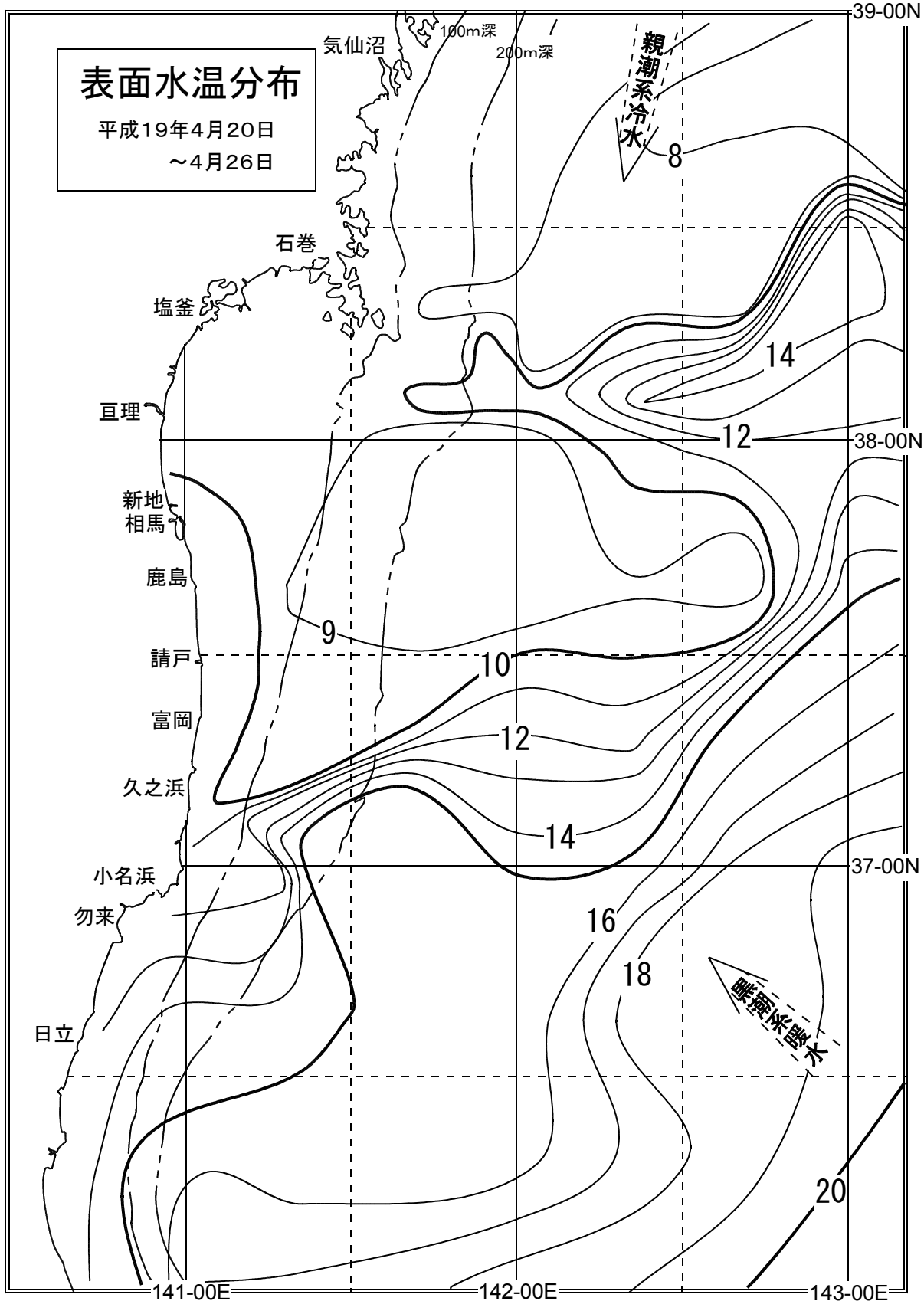
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
4/20	11.1	10.6	11.3	13.5
4/23	11.7	11.2	11.3	12.0
4/24	11.5	11.0	11.4	11.4
4/25	12.0	11.0	11.4	11.9
4/26	12.0	11.6	11.7	12.4

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成19年4月20日

～4月26日



漁海況速報

No.17

平成19年5月11日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

① 本県中北部海域沖には広く親潮由来とみられる比較的低い水温が分布しているが、先週より2℃程度昇温し10～12℃台となった。

② 黒潮系暖水の沖合からの波及傾向は先週並で、小名浜沖30海里付近及び60海里より沖合に波及がみられる。

③ 定地水温は、小名浜は平年より2℃高く、大熊・松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

・現状並の海況で推移するでしょう。

平成19年5月海洋観測結果

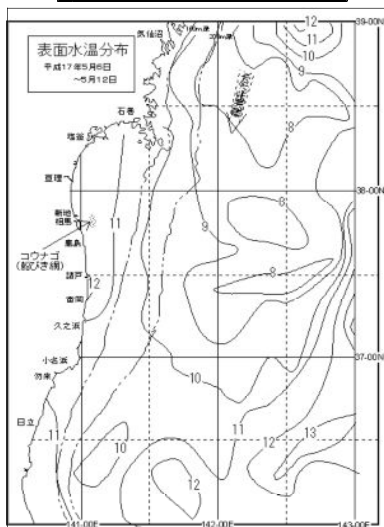
・5月8～11日に本県調査船「いわき丸」で行った海洋観測結果をお知らせします。
・観測した水温の定線ごとの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋埼	14.11	-1.30	+0.78
	鵜ノ尾埼	11.74	-0.99	+0.24
	全体	12.93	-1.14	+0.51
100m深	塩屋埼	8.03	-3.68	-0.70
	鵜ノ尾埼	8.28	+0.45	+1.04
	全体	8.13	-2.13	-0.04

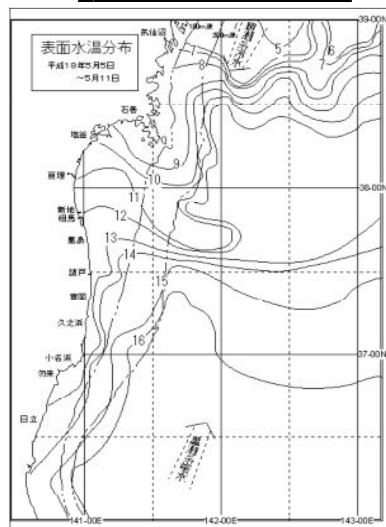
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・3月に接岸して本県沖に記録的な高水温をもたらした暖水塊は本県沖150海里より沖合へ離岸し、本県沿岸には北からの親潮系水の弱い波及が広い範囲でみられました。沖合からの暖水及び北からの冷水の波及傾向はみられるものの共に弱く、本県沖50海里以内の水温の平年差は平年並となりました。

平成17年同期



平成18年同期



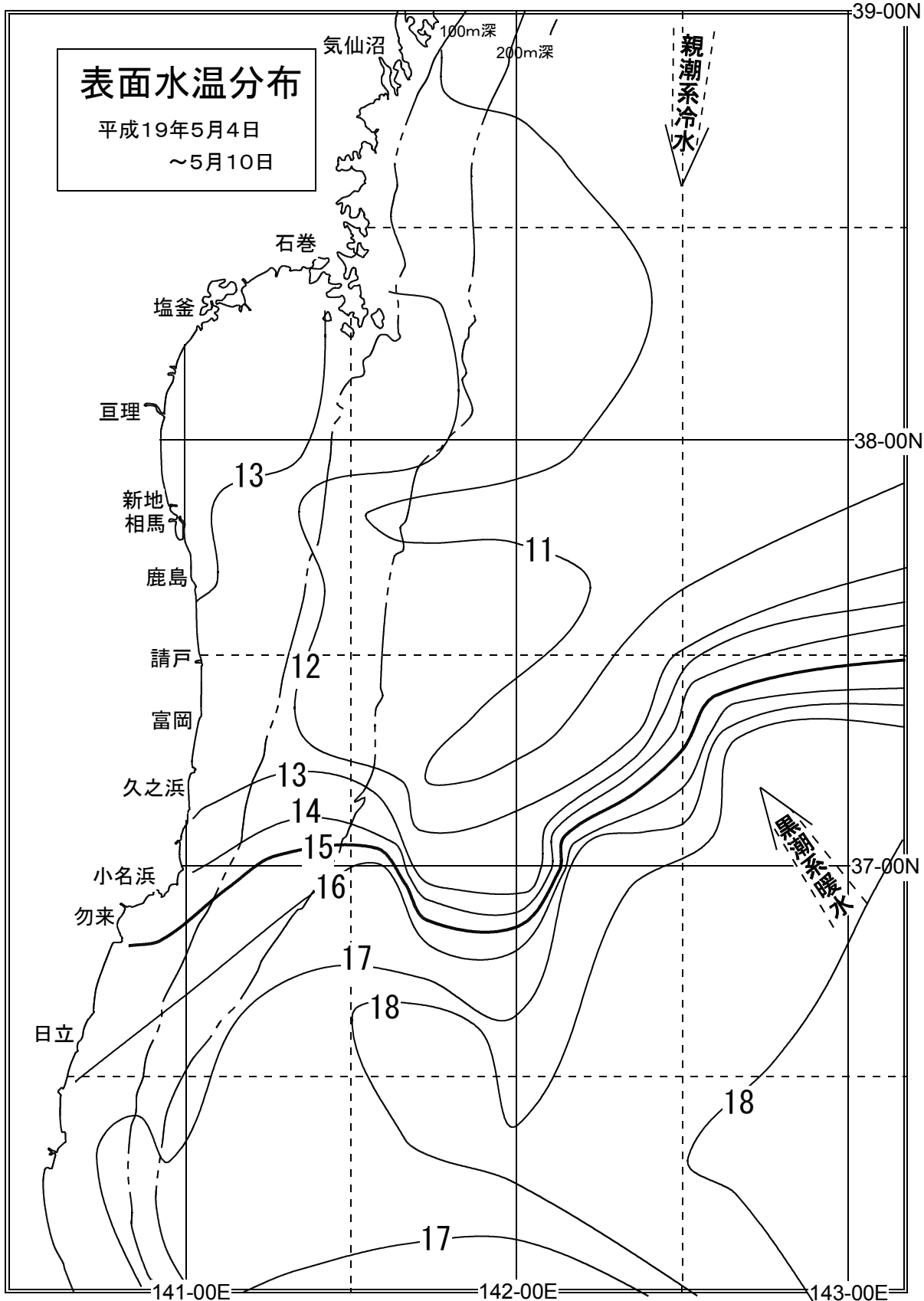
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
5/4	—	—	—	11.1
5/7	13.7	12.6	13.5	10.3
5/8	14.0	12.5	14.1	10.3
5/9	14.8	11.8	14.5	10.8
5/10	14.8	12.0	13.8	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成19年5月4日
～5月10日



漁海況速報

No.18

平成19年5月18日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県海域沖には広く10~12℃台の親潮由来とみられる比較的低い水温が分布し、南部海域沖20海里までにこの水塊が北から差込んだ。

②黒潮系暖水の波及範囲は先週より南下し、勿来沖30海里より沖合に14~15℃台が分布している。

③定地水温は、小名浜・松川浦は平年より1℃高く、大熊は平年並み。

見通し(1週間)

・親潮系冷水の南下に伴いやや水温の低下がみられるでしょう。

漁況情報(カツオ)

・例年5月以降、まき網、一本釣りによる本県へ水揚げが本格化するカツオの水揚げ状況をお知らせします。

表 5月上旬までのカツオの福島県属地水揚げの推移
(まき網、一本釣り、流し網)

	数量(kg)	金額(千円)	単価(円/kg)	まき網の初水揚げ日
平成14年	106,825	82,812	775	4月2日
平成15年	374,429	128,269	343	4月24日
平成16年	1,215,419	637,214	524	4月9日
平成17年	1,265,527	248,554	196	4月16日
平成18年	481,803	253,440	526	4月20日
平成19年	541,598	245,586	453	4月9日
昨年比	112.4%	96.9%	86.1%	

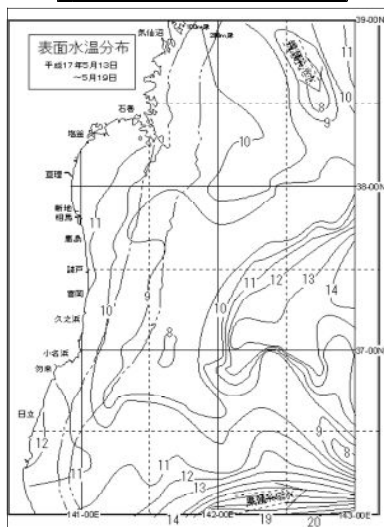
・5月前半に小名浜港、及び中之作港に水揚げされたカツオは例年並みの尾叉長44~46cm、体重1.7~1.9kgが主体でした。

定地・定点水温の推移(℃)

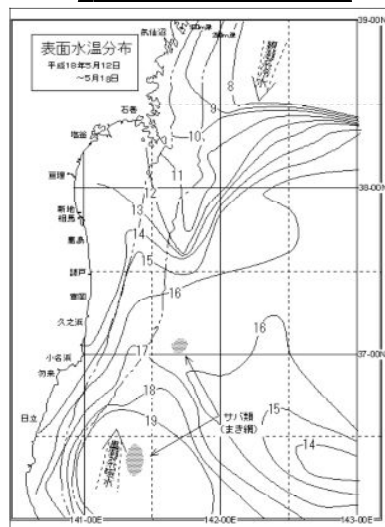
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
5/11	14.2	13.1	13.8	10.5
5/14	13.9	14.3	14.0	10.7
5/15	14.0	12.3	16.4	10.6
5/16	13.5	13.7	16.1	11.1
5/17	14.0	11.3	15.8	11.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成17年同期

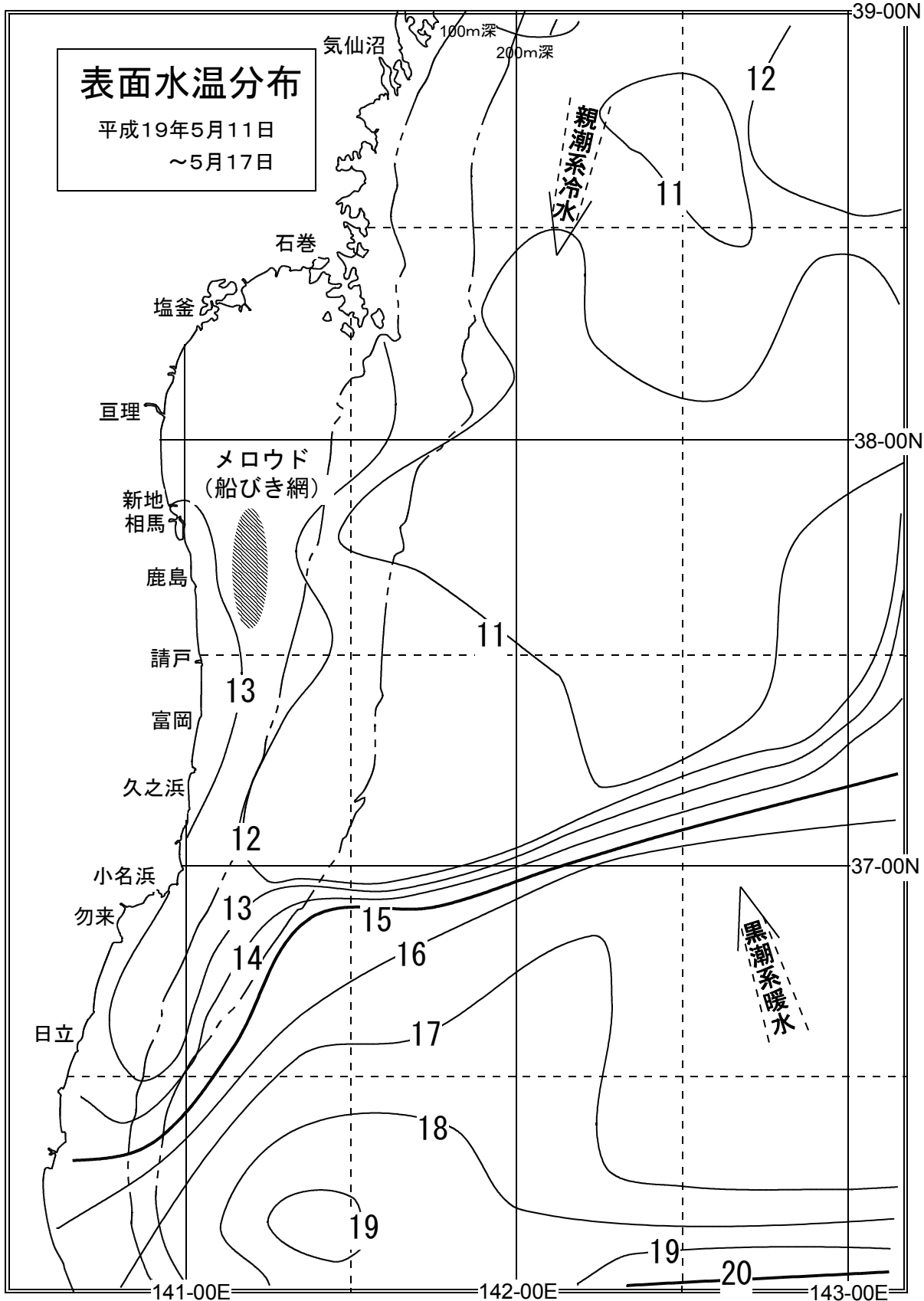


平成18年同期



表面水温分布

平成19年5月11日
～5月17日



漁海況速報

No.19

平成19年5月25日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県海域沖の水温は先週より2℃程度昇温し、12~13℃台に広く覆われた。

②黒潮系暖水の波及範囲は先週より南下し、日立沖より南の沖合に15℃以上の水温が分布している。

③定地水温は、小名浜・大熊・松川浦ともに平年並み。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
5/18	12.5	11.8	16.2	11.3
5/21	12.8	13.0	14.8	11.6
5/22	13.8	13.1	15.1	11.8
5/23	14.5	12.8	15.7	12.6
5/24	14.9	12.1	15.4	12.4

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

海況情報

- ・4月中旬頃まで勢力の強かった黒潮系暖水の波及は5月に入り弱まってきており、例年通り親潮由来とみられる比較的低い水温を持つ水塊の南下傾向がみられております。
- ・これに伴い、5月中旬以降の本県調査船「拓水」および「いわき丸」の調査時には、これまで本県海域に目立った来遊がなかったオキアミを、魚探にて水深100~200mの海底付近でそれらしき反応としてとらえられるようになりました。(画像はホームページにて公開)
- ・「拓水」で沿岸の鉛直水温を観測しましたが、未だ親潮系冷水に区分される100m深5℃未満の水塊はみられない模様です。(観測位置は別添海況図をご参照下さい。)

①北緯37度48分,東経141度15分

水深(m)	水温(℃)	塩分(PSU)
表面	12.90	—
10	12.26	32.987
20	11.36	33.148
30	10.24	33.543
47	9.86	33.681

③北緯36度55分,東経141度25分

水深(m)	水温(℃)	塩分(PSU)
表面	12.40	—
10	11.54	33.658
20	10.78	33.659
30	10.32	33.693
50	9.44	33.731
75	8.96	33.747
100	8.60	33.753
125	8.30	33.769
150	8.02	33.749
200	6.83	33.660
250	5.02	33.574
283	4.42	33.551

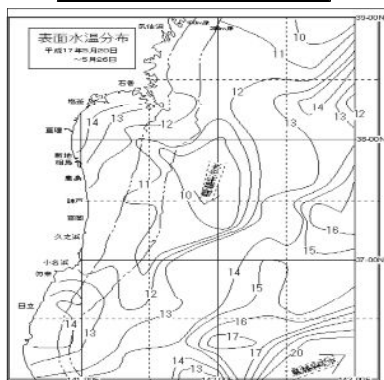
②北緯37度27分,東経141度18分

水深(m)	水温(℃)	塩分(PSU)
表面	13.70	—
10	12.04	33.327
20	10.77	33.585
30	10.19	33.678
50	9.51	33.735
75	9.05	33.774
100	8.55	33.779
111	8.55	33.779

・5月18~24日

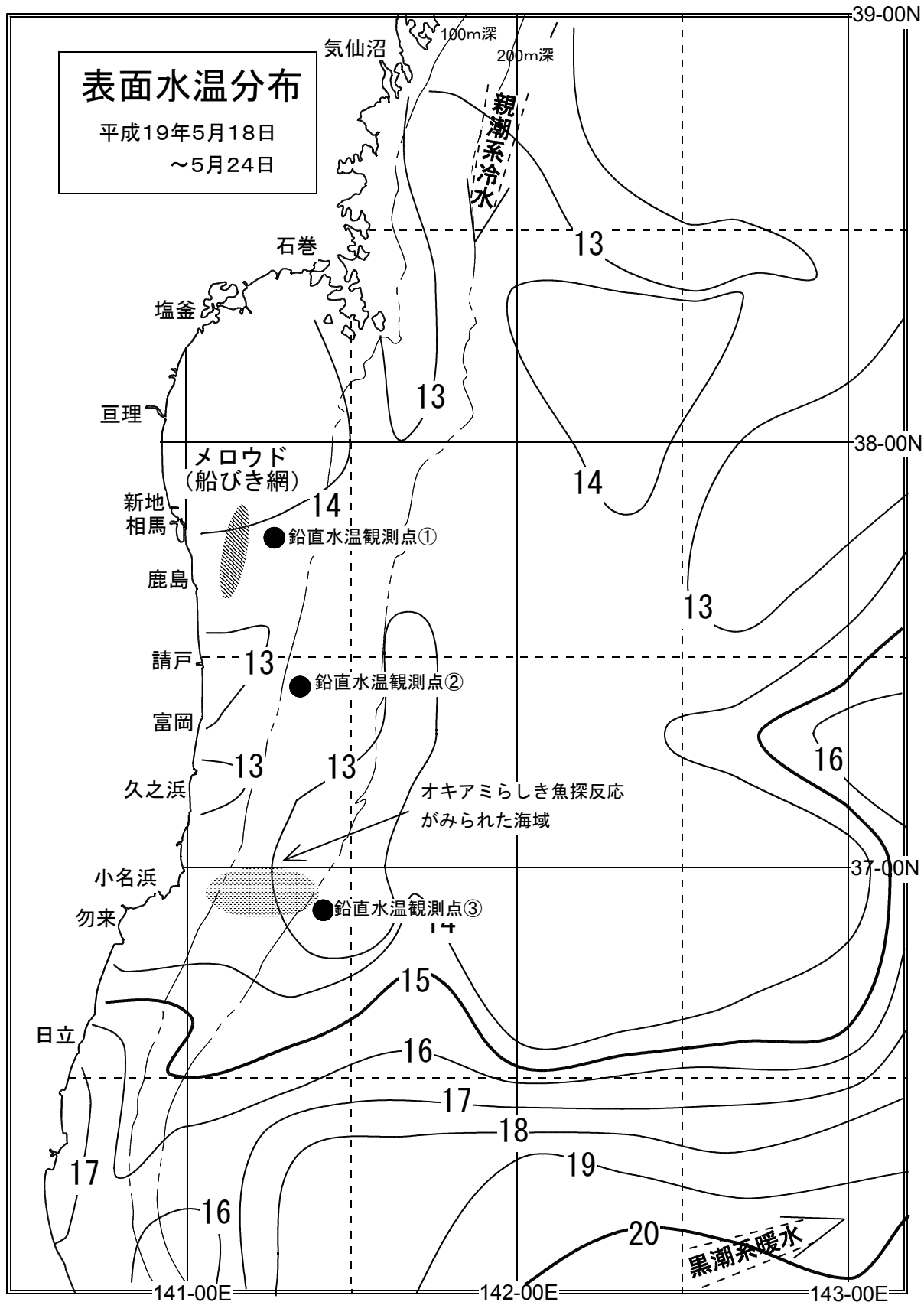
拓水による鉛直水温分布調査
(表の丸数字は海況図に対応)

平成17年同期



表面水温分布

平成19年5月18日
~5月24日



漁海況速報

No.20

平成19年6月1日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

①本県海域沖の水温は先週並で12~13℃台に広く覆われている。

②本県沖への黒潮系暖水の波及は、中北部海域沖100海里にみられる以外は目立った波及はみられない。

③定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊・松川浦はともに平年並。

見通し(1週間)

・現状並の海況で推移するでしょう。

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
5/25	14.1	13.4	14.5	12.7
5/28	14.4	15.4	15.6	12.0
5/29	14.3	15.1	15.4	12.0
5/30	14.9	12.5	15.3	12.0
5/31	14.8	12.6	17.6	12.6

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)

漁況情報(アワビ・ウニ)

- ・5月1日、福島県におけるアワビ・ウニ漁が解禁となりました。5月30日までの水揚げ状況をお知らせします。
- ・アワビの漁獲量及び貝焼きの販売個数は前年同時期までと比べて少なくなっています。これは主に漁日数の減少や、ウニの身入りが悪いことによるものです。
- ・アワビの単価は昨年より1000円/kg程度安くなっています。岩手県(昨年11~12月に操業)で非常に豊漁だったため、全国的に在庫がだぶついていることが原因と思われます。
- ・貝焼きは昨年よりやや高い単価で取引されています。

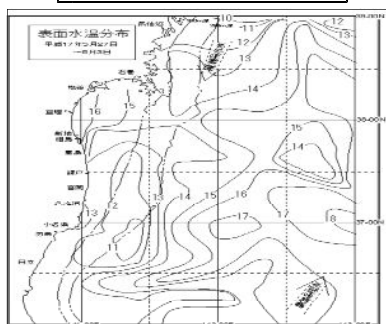
表1 アワビ水揚げ状況(5/30まで)

市場名	漁獲量(kg)		漁獲金額(千円)		平均単価(円/kg)	
	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年
小名浜	2,019	1,347	20,369	12,345	10,087	9,163
中之作	459	225	4,062	1,636	8,855	7,284
沼之内	922	420	8,210	3,216	8,907	7,664
四倉	138	147	1,106	963	8,046	6,535
久之浜	293	336	2,526	2,955	8,637	8,803
鹿島	0	67	0	425	—	6,331
相馬原釜	280	253	2,360	1,946	8,417	7,691
合計	4,110	2,795	38,633	23,486	9,399	8,404

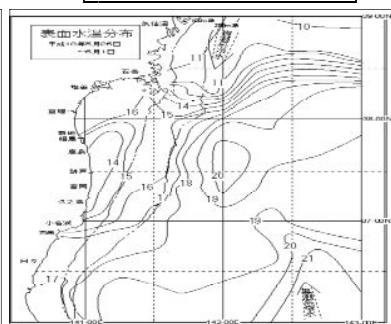
表2 ウニ水揚げ状況(5/30まで)

市場名	貝焼個数		金額(千円)		単価(円/個)	
	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年
小名浜	16,618	13,930	20,790	19,209	1,251	1,379
中之作	658	154	729	187	1,109	1,213
沼之内	5,222	4,390	7,997	7,060	1,532	1,608
四倉	297	86	498	146	1,674	1,698
合計	22,794	18,560	30,014	26,601	1,317	1,433

平成17年同期



平成18年同期



表面水温分布

平成19年5月25日
～5月31日

